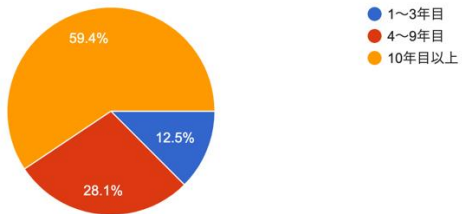


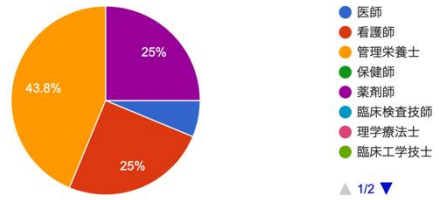
第3回京都腎臓病療養指導士認定試験対策講習会 受講後アンケート 2022年1月14日(土)

参加者 53名 (講師含む)

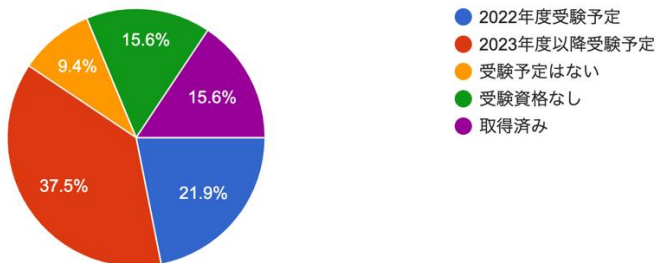
実務経験年数
32件の回答



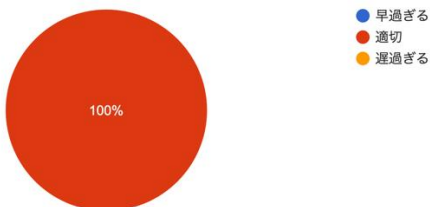
職種
32件の回答



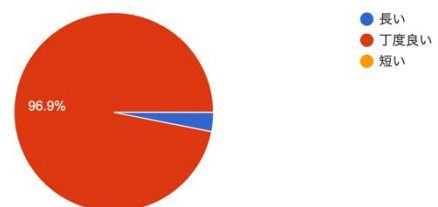
CKDE認定試験の受験予定
32件の回答



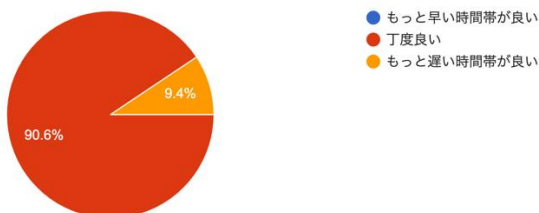
試験対策としての研修会の開催時期に関して
30件の回答



研修会の時間について
32件の回答

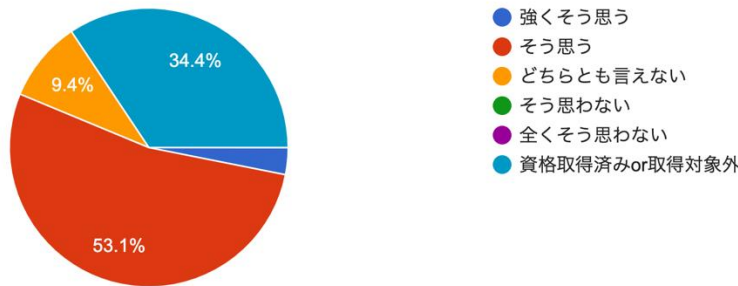


開始時間について:開始時間は適切だったか?
32件の回答



研修を経て、腎臓病療養指導士資格取得へ自信がついたでしょうか？

32件の回答



→取得済み・対象外を除いた[強くそう思う・そう思う]の割合：85.7%(18人/21人)

全体を通して、今後に活かせると感じた事等、感想をご記入ください。
知らないことも多かったので勉強になりました。今後、試験を受ける機会があれば活かしたいと思います。
ありがとうございます。今後も受講させていただきたいと思いました。
受験に関係なく、日常の業務に当たる上でとても役立つ情報ばかりでした。ありがとうございました。
病態栄養学会&京都府栄養士会理事と重なっており参加勧誘しても管理栄養士は難しかったです。
次年度は考慮が必要かも
試験によらず日常業務に役にたいです。
腎臓病教室に活かせる内容があったと思いますので、今はお休みしていますが今後新しく資料作成したいと思いました。
実際に受けた方の感想が聞いて良かったです
テキストに沿いつつ他職種の方の言葉が生で聞いて良かったです。テストに向けての緊張感が増しました。
テキストのポイントをギュッと絞って講義していただけたので、テキストの内容の理解が深まりました。とてもありがたい講習会でした。ありがとうございました。
自己学習されている中で分からないと感じておられる点があれば、申し込み時に聞いておき講演中に返答するとかどうでしょう？
業のことや治療のことなど勉強になりました。
栄養管理についての知識不足を認識させられたので改めて勉強していこうと思いました。
沢山の先生のお話を聞くことができとても貴重な時間でした。今後の講習会も是非参加させていただきたいです。
勉強させていただきました。
テキストに準備した内容かつ重要なポイントがしぼられていて、大変充実した講座でした。過去に受験された方のリアルな声を聞くこともできて有り難かったです。(大変恐縮ですがガガファイル便の事前配布資料・予想問題のダウンロードがうまくできておらず、参加者宛に再配布があると大変ありがたいです。)
非常に良かったです。また来年も宜しくお願いします！
薬剤をもう一度勉強します。あと、必須アミノ酸など、基礎も学び直さなければなりません。
研修会の順番として、毎回ながら医師の先生からスタートがとてもスムーズ。腎臓の機能を守るためにはどうするか？栄養・薬という流れが良いです。看護師からは生活面での注意もありますが、今回のように患者さんへの寄り添いの部分が大切だと思います。
資格取得済みではありますが、取得後長年経つので復習にもなりとても勉強になりました。
勉強のポイントを教えて頂けて良かったです。
大東先生がおっしゃっていた「他分野の説明ができる」というきっかけにもなることを自信に変えて頑張ろうと思いました
・腎臓専門医への紹介時期・個別化eGFRで考えることなどとても参考になりました。
薬剤の事はやはり苦手なので、このような講演会はありがたいです。知識を深め、今後に活かしたいと思います。
講師の先生方、本当にお疲れさまでした。大変、勉強になりました。毎回、多職種の先生方の講演をお聞きすると、色々な発見があります。
原先生、当直明けにも関わらず、教えていただきありがとうございます！そして、本当にお疲れ様です！
八田先生のおっしゃるとおり、とてもよくわかり感動しました。もっとも聞きたくかったです。
頭の中は、時計！時計、さっそく活用させていただきます！eGFRの意味も理解できました。沢山の先生方が筋肉量に左右されないなら、eGFRよりいいのでしょうか？
早く毎月測定できるようになってほしいですね。金森先生、問題に沿った解説、とてもわかりやすかったです。
一つ一つの問題をじっくり考えることができました。先生のおかげで、今回は全問正解でした(^O^)/
小江先生、同じ看護師として自分の患者さんに対する態度を改めて考える機会をいただきました。主体は、患者さん、病院は特殊であり生活の場ではない。自宅に物品があるのが当然ではないのだということ、その人、一人一人の生活状況の把握・確認など、目からうろこでした。
もっとコミュニケーション技術を高め、信頼関係を築き、対等な立場で一緒に考えていきたいなと思いました。
田中先生、私の苦手分野は、栄養です。でも、わかりやすく要点をまとめていただいて、よかったです。
だしの素の塩分が高いこと、ゆでこぼしの野菜をしぼること、冷凍食品を利用することなど、初めて知りました。
立場上、外会が多くて困っている患者さんがおられますが、「調味料は足さない」「汁は残す」「外食の次の食事で塩分を減らす」患者さんにお伝えしようと思いました。
そして、タンパク質管理を仕事に例えられているのも、すごくわかりやすかったです。
大東先生、標準化eGFR 個別化eGFRなど、知らないことを教えていただきありがとうございました！
腎臓から排泄される薬剤、今後気を付けようと思いました。特に、メトグルコ内服中の患者さんにも必要性をきちんと説明していこうと思います。
もっともって薬剤のことも知っていきたいなと思いました。私は、療養指導士認定試験は受験しないのですが、多職種の先生方の勉強会に参加するのを今後も楽しみにしております。本当にありがとうございました(^)/

今後、京都腎臓病療養指導士会や、腎臓病療養指導士の資格を活かしてできる企画や活動、イベントについてどのような事ができるか皆様のアイデアをお聞かせください。
色々な病院や薬局も合わせて、腎臓病教室のための資料が共通のもので作られたらなと思いました。
栄養指導+服薬指導など、連携して患者さんと関わりがもてるイベント
この会も継続していきください、試験に特化してコツも分かるので
大変有意義な講座だと思います。ありがとうございました。
京都府内でのCKD啓発活動が療養指導士が横の繋がり、指導士のやりがいを感じることで一番だと思います。人目に触れやすい場所、病院ではなく一般市民がふと目を止めやすいスーパー、大型店舗での実施で、多職種で色々なアイデアを出しながらイベントを継続してできることを願います。
アイデアではありませんが、3月の腎臓デーイベントが楽しみです。本日はありがとうございました。
透析やその前段階の方が増え、どういった関わり方をすれば本人が望まなかった状況を回避できたか？仮に透析になったとしても、そこに行くまでにもっとできることはなかったかと日々悩んでいます。症例検討会や情報共有会などがあればよいなと思います。